



茶色く濁った汚い水を販売している自販機

茶色く濁った、とても汚い水を販売している自販機があるようです。自販機には堂々と「DIRTY WATER (汚い水)」と記載されており、汚い水を販売していることに関して悪びれている感じが全くありません。では、なぜ汚い水の自販機が設置されているのでしょうか。



メニューにはマラリアやコレラなどの病原菌の名前が記載されています。



価格は1本1ドル(約94円)です。



この自販機で販売している水はこんな感じ。茶色くてかなり濁っています。



この自販機は、ユニセフが発展途上国にきれいな水を提供するための募金を集める目的で行ったキャンペーンでニューヨークに設置されたものです。

この水は飲むことができないため、自販機というより、趣向を凝らした募金箱ということのようです。

【2009年7月15日 ニューヨーク発】



オーストラリア自治体 ペットボトル追放へ

オーストラリア・シドニー南方の人口約2千人の町バンダヌーンは8日、環境への配慮から、今年中にペットボトル入り飲料水の販売を禁じるとを決めた。

自治体としては同国初で、世界でも数少ない取り組みとみられる。石油資源を大量に使うペットボトルをなくし、温室効果ガス削減につなげるなどが狙い。

水道水が飲めるニューヨークなどでも同様の運動がある。水道水と比較して数千倍の価格のボトル入り飲料水の必要性に議論が多く交わされている。

町内の店ではペットボトル追放に伴い、水を持ち歩くための再利用可能な容器を売り出すという。(町外からのペットボトル入り飲料水の持ち込みは禁止の対象外。)

同町やシドニーのあるニューサウスウェールズ州政府も8日、すべての省庁を対象に、ペットボトル入り飲料水の購入を禁じると発表した。

【2009年7月9日】

ペットボトルの水の原価は0.1円以下、他はボトル代・ラベル代・運賃・人件費などです。

今後環境意識の高まりとともに、脱ペットボトルの運動は広がっていくことでしょう。

シミ・ジャー通信をご覧の皆様は、よほどの事情がないかぎり、ペットボトル水の購入や使い捨てはしてほしくないと思いますが、水道料金の現状維持と将来の供給確保のためにも、サンゴ浄水器を活用して、上手に水道水を使ってください。